

令和 7 年度 東海大学技術士会 定期総会・10 周年記念行事 開催報告

2025 年 8 月 30 日

令和 7 年度定期総会および設立 10 周年記念行事が、2025 年 7 月 26 日（土）に湘南キャンパス 19 号館（対面）と Web のハイブリッド形式で開催されました。会場には教職員、会員、学生ら約 20 名、Web から 18 名が参加し、委任状を含めて 115 名による成立のもと、総会が行われました。開会にあたり、山本佳男工学部長（会長）より開催の挨拶があり、大学の現状や本会への期待が述べられました。議事進行は綿貫副会長代表が議長を務め、令和 6 年度の活動・会計報告、新役員体制、令和 7 年度の活動計画と予算案が事前表決により承認されたことを報告しました。また、役員が全員新たに再選され、今後は 2 年ごとの交代制を目指す方針も示されました。なお、今年度は特に、11 月 22 日（土）に開催予定の「10 周年記念シンポジウム」が大きな行事として計画されています。



写真 1 総会の状況

■ 10 周年記念行事「10 年の歩み」振り返り

定期総会に続き、設立から 10 年間の歩みを振り返る記念行事が行われました。齋藤寛常任幹事から、以下の様に 10 周年の記録を画像中心に説明をしました。

- **設立期（2014-2015）**

他大学で技術士会が立ち上がる中、東海大学でも設立の必要性が叫ばれ、2015 年 11 月 7 日に発足式を開催。初代会長には吉田一也先生が就任されました。

- **初期（2016-2017）**

熊本地震犠牲者への黙祷、学生と OB の交流会、山田清志学長による特別講演、ホームカミングデー初出展など、大学との連携を開始しました。

- **多様化（2018-2019）**

清水、高輪、静岡キャンパスで活動を展開し、外部講師を招いた講演会など活動が広がりました。

- **コロナ禍（2020-2021）**

初のメール審議による総会や Web 開催を実施。建設系学生向けの出前授業を新たに開始しました。

- **発展期（2022-2023）**

ハイブリッド形式が定着し、学生向けの技術士一次試験受験説明会が恒例化。会員数は大きく拡大しました。

- **現在（2024-）**

能登半島地震をはじめ社会的課題にも言及し、大学行事との関わりがさらに広がっています。

【設立に関わった先達の声とエピソード】

初代会長の吉田一也先生と太田芳雄幹事が設立当時の様子を以下の様に語っていただきました。

太田幹事からは、設立のきっかけとなった「天下の東海大学になぜ技術士会がないのか」という言葉を紹介。当時は会員名簿すら存在せず、技術士会本部に足を運び、わずか数名で 170 名分の卒業生名簿を手作業でリストアップした苦労を語りました。さらに、吉田先生から「200 名程度はいないと会は成り立たない」と厳しくも温かい激励を受け、会員集めに奔走したエピソードを披露しました。

吉田先生からは、工学部長在任中に神藤顧問や太田幹事からの強い要請を受け、「自分は技術士資格を持たないため最初は固辞したが、学校法人からの後押しもあり覚悟を決めて会長を引き受けた」と回顧。その後は会員増強を強く推進し、10 年を経て会員数が 272 名に達したことを「大変素晴らしい成果」と評価しました。また、「本会は単なる OB 交流ではなく、後輩の指導を通じて東海大学愛を体現している」と述べ、事務局の創意工夫による企画運営に深い感謝を表しました。

川上先生（第 2 代会長）は、大学との連携が大きく前進したことを評価しつつ、活動が土木・建築分野に偏っている点を指摘。他学科への広がりを求めるとともに、同窓会における技術士会の位置づけを明確にし、「活動費の助成を技術士会も受けられるよう、同窓会内での地位向上が必要」と提言しました。

■ 特別講演・懇親会

総会後には、佐川耕平先生による特別講演「ソーラーカーレース参戦を通じた技術人材育成」が行われました。学生たちと挑戦したソーラーカー開発のプロセスや国際大会での成果が紹介され、技術者教育の実践事例として参加者に大きな感銘を与えました。

さらに、湘南キャンパス 19 号館前のログハウスにて懇親会を開催しました。昨年度、技術士一次試験に合格した現役学生 3 名も参加し、記念品の贈呈と活発な情報交換が行われました。世代を超えた交流の場となり、今後の活動の原動力となる時間となりました。

■ 今後の予定

10 周年記念シンポジウム（2025 年 11 月 22 日・土）

「常態化する気候変動、地殻変動で激甚化する災害に対して私たちができることは」
基調講演には医学部・中川儀英先生を予定しています。詳細は追ってご案内いたします。

本会は「東海大学愛」を原点に、学生支援と社会貢献を両立させる活動を続けてまいります。引き続き皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

文責：綿貫啓



図 2 吉田先生(左)と太田幹事(右)



図 3 総会参加者の集合写真



図 4 懇親会の状況



図 5 一次試験合格者の挨拶